

令和3年度 学校関係者評価報告書

評価点

自己評価		学校関係者評価	
A	高いレベルで達成できた	A	とても適切である
B	達成できた	B	概ね適切である
C	一部達成できなかった	C	あまり適切でない
D	ほとんど達成できなかった	D	適切でない
		E	判定できない

学校(園)名: 広島大学附属東雲小学校

分野	重点目標 (評価項目)	年度計画(中期計画・ 中期目標)との関連性	具体的方策	成果指標・判断基準	自己評価		学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
					達成状況, 改善策	評価	意見・理由	評価	
教育課程・ 学習指導等	教育実践活動の充実	グローバル時代に必要 な資質・能力の育成 の観点から, 単式学 級, 複式学級, 特別支 援学級が関係づいた 教育課程を編成し, 実 施する。	違いを認めつつも一人 一人のよさに目を向 け, 自分から成長しよ うとする姿を価値づけ ていく。	本校の教育実践活動 に対する教職員の肯 定的評価が80%以上 となる。	教育活動に対して教職員の 90%以上が肯定的に評価し ている。一人一人の成長を 具体的に認めさらに伸ばす 努力を継続したい。	B	自分の学校を肯定的にとらえ ることは良いことで大切なこ とである。日々自己研鑽に励 んでほしい。	B	教師の資質・能力を高めるこ とに焦点化した研究, 組織作 りを継続して行っていく。
	めざす姿の具体やつ けたい力を意識した指 導の充実		行事や様々な教育活 動をPDCAのマネジメ ントサイクルに基づい て行い, 活動の質を高 めていく。	ふり返りの重視により成 果と課題を明らかに し, 次への展望をもつ ことができる。	活動後の教師の評価する言 葉に着目して, 活動を見つめ 直し, 次はどうするかを具体 的に考えさせることができ つつある。	B	活動のふり返りが形骸化しな いような工夫が必要である。 様々な観点から児童が自ら の成長が感じられるようにし たい。	B	教師として確かな目と豊かな とらえができるように, 教員自 身の資質・能力を高めていけ るような研修を行っていく。
教育研究等	グローバル時代をきり ひらく資質・能力を育 むための教育研究の 推進	附属学校としてのミッ ションを踏まえ, 本校 の特長を生かしつつ, 学校現場が当面して いる課題やニーズを見 据えた教育実践研究 を行い, その発信に努 める。	教科等の特性や独自 性を生かし, 児童の学 びを豊かにする観点で 授業研究を進める。	研究授業や研修会を 年5回以上行い, 全 ての教科で研究成果をま とめる。	コロナ感染症の影響により計 画通りできなかったが, 小 グループや自主公開の形で研 究授業を行った。	B	小学校と中学校で共通の テーマで研究していくことは とても良い。さらに協力して研 究を推進してほしい。	B	感染症の状況を見極めなが ら授業研究の持ち方を工夫 して発信することに力点を置 いた研究推進に行う。
	インクルーシブ教育の 推進		インクルーシブ教育の 理解を深め, 授業研究 を通して研究を推進す る。	東雲特有の環境を生 かしてインクルーシブ 教育の観点から授業 協議会を行うことができ る。	低・中・高学年に分かれての インクルーシブ授業研究を行 い, 支援のあり方について検 討した。	A	インクルーシブ教育等, 現代 の教育課題に対する取組は 大切なことであり, 評価した い。その取組を継続してほし い。	A	東雲小学校の特色である3つ の学級形態を活かし, さらに 実践研究を積み重ねていき たい。
	複式教育の推進と発 信		校内研修で複式教育 について考える場を設 け, 教員の理解と見識 を深める。	複式教育授業座談会 を実施し, 本校の考え 方や実践を「複式教育 ハンドブック」にまとめ る。	複式教育座談会は中止にし たが, 東雲教育研究会で複 式部会を開き, オンラインで 実施することができた。	B	複式教育を本校の特長とし て大切にしていることがよく分 かる。実践をまとめることは大 切なことでニーズに応える努 力を続けてほしい。	A	出版に向けて本校の理論と 実践をまとめてきたが, 足りない 部分が補いさらなる内容の 充実を図る。
社会連携・ 社会貢献活動等	広島県や近県の公立 学校との連携推進, 大 学や他団体からの要 請への協力	小中連携や多様な学 級形態を有する本校 の特長を生かした教育 研究の拠点校として地 域の教育力の向上に 貢献できるように努め る。	可能な限り講師派遣や 視察・調査依頼に応 え, 外部研修に積極的 に参加することにより, 附属学校としての役割 を果たし機能を強化す る。	「本校への示唆」として 得られた知見を教育活 動に生かし, 共有する ことで存在価値をさら に高めることができる。	コロナ禍においてオンライ ンでの研修参加を積極的に 行うことができた。また一人一 人の教員に研究図書購入費 を確保することで様々な知見 を得るよう働きかけた。アク ションリサーチ実地研修5名 の受け入れや3件の調査依 頼に協力した。	B	コロナ禍においても研修の機 会を自分から見つけて, 積極 的に参加して良いところは取 り入れてほしい。また, 長期 的視野に立って教育研究の 協力を行ってほしい。	B	個人で得た研修の内容を個人 内で終わらせるのではな く, 研修報告という形で全体 の場で広げ, 共有し合うこと にも力点を置きたい。

注) 太枠内は, 学校関係者評価委員会が記入する。

令和3年度 学校関係者評価報告書

評価点

自己評価		学校関係者評価	
A	高いレベルで達成できた	A	とても適切である
B	達成できた	B	概ね適切である
C	一部達成できなかった	C	あまり適切でない
D	ほとんど達成できなかった	D	適切でない
		E	判定できない

学校(園)名: 広島大学附属東雲小学校

分野	重点目標 (評価項目)	年度計画(中期計画・ 中期目標)との関連性	具体的方策	成果指標・判断基準	自己評価		学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
					達成状況, 改善策	評価	意見・理由	評価	
学校経営・ 安全管理等	安全な環境の整備	学校教育の基盤となる健康, 安全, 安心の確保及び附属学校としての使命の遂行の観点から教員配置の適正化を図り, 業務内容の整理による業務改善を行う。	コロナ対策による感染予防に努め, 健康維持や危険防止の観点から環境整備を行う。	コロナ対策の情報を収集し, 安全な学校生活ができる。また学習環境の整備や安全点検による危険箇所の修繕・改修を迅速に行う。	保護者への啓発と基本的な感染症対策を行うことにより, 感染者を最小限に止めることができた。定期的な安全点検で危険箇所を見つけ, 迅速な対応ができた。	B	修繕の規模や予算, 手続き等の問題はありますが, 優先順位を考えて児童が安心して学校生活が送れるように配慮してほしい。	B	コロナ感染症の影響は来年度も予測できないが, 広島市や県の状況やその対応を踏まえながら児童が安全・安心して臨めるような活動や取組を行っていく。
	ICTの効果的な活用		タブレットの活用ができるように環境を整え, 効果的な活用ができるように情報を収集し実践に役立てる。	タブレットが使用できる環境が整っている。情報収集しながら積極的に活用している。	夏休みに作業して授業で積極的にタブレットを使用する活動が多く見られるようになった。	B	コロナ禍において喫緊の課題であるのでこれからさらに進めてほしい。環境整備と使用効果について研究的に取り組んでもらいたい。	B	先進的な情報を積極的に収集し, 授業を通して具体的にその効果を検証していきたい。
	教職員の健康管理の徹底		業務内容の整理や会議の精選により職務の効率化を図る。	会議なし・一斉退校日を設定したり個人業績シートに働き方改革の視点で記述したりすることで教員の意識を高めることができる。	働き方に関する観点を業績評価シートに文字化することで意識をすることができた。個人差があるものの退勤時間も早くなった。	A	教職員の健康管理は職場環境作りにおいて重要な要因である。継続的に取り組んでほしい。	A	個人目標の設定はできたが明確な組織目標を立てて全教員が共有して向かうような取組にする。
教育実習	教育実習指導の充実	次世代型の教育実習指導を開発する。	大学との連携を図りながら次代を担う教師・社会人の育成をめざした教育実習指導を行う。	教育実習に関する教職員や実習生の肯定的評価が80%以上となる。	英語と理科の合科の授業をしたり反省会で児童理解に基づいた学級づくりの話をしたりと充実した実習となった。90%以上が満足と答えた。	A	将来, 必要となる資質能力が身につくような質の高い教育実習の実現に向けて努力してほしい。	A	授業づくりはもちろん, 学級づくりにおいても実習生が主体となって学ぶ教育実習を実現させたい。

注) 太枠内は, 学校関係者評価委員会が記入する。